





三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

暁、いとよきものなり。かう世はなれたる里ながら、昼のほどは、  
このように世間から離れた里ではあるが

とかくまぎるることもあり、宵のほどは、ひと日の疲れ、とり集めて

ねぶたきを、丑三つなどいふほどより起きいでて、文にむかひたる、  
書物

四方にはいささかの物音もなくて、いと心すむわざなり。 A は、

ひまもる風のいと寒きに、埋火うみびかきおこすほど、遠山寺の鐘の音、た  
すき間からもれる 遠くの山寺

だこもとに聞きなされるも、いとど、浮世遠き心地ぞする。 B

は、小雨そほそほと降りて、たえだえなる玉水の、かしはの枯葉にか  
とぎれとぎれの玉のようなく

かる音する。 C は、蚊こそうるさけれど、まきの板戸もささで

おきたるに、二十余日の月、窓ふかくさし入りたる。 D は、雁、  
かきお

きりぎりす、いとあはれにて、我もともになきあかさんとす。

(注) 暁＝夜中過ぎから夜明けごろまで。

丑三つ＝およそ今の午前二時から二時半。

埋火＝火鉢などの灰にうずめてある炭火。

きりぎりす＝「こおろぎ」の古名。

1 本文中の A ～ D には、春・夏・秋・冬のいずれかがそれぞれ一つずつ入る。適する語を選んで書きなさい。

A  B  C  D

2 ①ただこもとに聞きなされるも とあるが、どのようなことを表しているのか。次のうち、最も適しているものを一つ選び、記号を書きなさい。

A むなしく空に消えていくように聞こえるのも

I まるですぐ近くで鳴っているように聞こえるのも

ウ はるかかなたから聞こえてくるように思われるのも

E ひっそりと自分だけが聞いているように思われるのも

3 ②ささでおきたるに の意味として、次のうち、最も適しているものを一つ選び、記号を書きなさい。

A 閉めずにおいたところが

I 錠をさしておいたところが

ウ 風流な作りにおいていたところが

E 破れたままにしておいたところが

4 この文章で筆者が述べようとしていることとして、最も適しているものを一つ選び、記号を書きなさい。

A それぞれの季節の趣を書いた書物を静かな暁どきに読む楽しさ。

I 季節の移り変わりの速さと暁どきにつのる一人住まいのさびしさ。

ウ 四季おりおりの宵から暁どきにかけて変化する情景のおもしろさ。

E 心静かに書を読む暁どきのよさとその季節おりおりの趣深さ。

四 次の文章は中国の故事を歌物語にした説話である。これを読んで、

あとの問いに答えなさい。

むかし、王子猷<sup>わうしいう</sup>、山陰といふ所にすみけり。世中のわたらひにほど  
されずして、ただ春の花、秋の月にのみ心をすましつつ、おほくの  
東縛<sup>とうばく</sup>されず

しつきをおくりけり。ことにふれてなさけふかき人なりければ、月の

光清くすさまじき夜、ひとり起きあてなぐさめがたくや覚えけん、高  
恐ろしいばかりに澄み渡つていた夜

瀬舟<sup>せぶね</sup>にさをさしつつ、心にまかせて戴安道<sup>たいあんどう</sup>をたづねゆくに、みちの程  
はるかに遠い

はるかにて、夜もあけ月もかたぶきぬるを、本意ならずや思ひけむ、  
道のりであったので 不本意に思ったのだろうか

かくともいはず、かどのもとよりたちかへりけるを、「いかに」とと  
「来ました」とも言わず、門前から引き返そうとしたのを

ふひとありければ、

もろともに月みんとこそいそぎつれ  
一緒に

かならずひとにははむものかは

とばかりいひて、つひに帰りぬ。心のすきたる程はこれにておもひし  
とうとう帰ってしまった

るべし。戴安道は剡縣<sup>えんけん</sup>といふ所にすみけり。この人のとしごろのとも  
数年来の

なり。おなじさまに心をすましたる人にてなん侍りける。  
はべ

〔唐物語〕による

(注) 王子猷 王徽之のこと。風流人として有名だった。

山陰 中国浙江省にある地名。

高瀬舟 へさが高く上がり、底が平らな小舟のこと。

戴安道 博学で知られた人物。

剡縣 中国浙江省にある地名。山陰の南に位置する。

1 わたらひ を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

2 なさけふかき人 とあるが、これとよく似た意味の語句を本文中から八字で抜き出さない。


3 本文中には和歌があるが、これはどのような問いかけのことに對して詠まれたものか。そのことばを抜き出さない。

4 心にまかせて戴安道をたづねゆく とあるが、王子猷がこのような行動をとったのはなぜか。その理由を簡潔に書きなさい。